

事業内容1:放課後価値向上支援・地方型汎用モデル構築

子ども主体活動に対する拠点直接支援

事業提案書

課題・背景

本来、放課後は子どもたちが自由に主体的に過ごすことができる時間。
しかし、子どもたちが「やりたい！」と願う活動を新しく始めたくとも、下記2点の課題を抱えた拠点多く、活動の幅が広がらないのが現状。

- ・ 活動に必要な備品や材料、機材等の物品購入費が不足、購入に手間がかかり大変
- ・ スタッフの子ども主体の活動に関するスキルアップの研修機会も不足(情報交換の場も)

目的・趣旨

活動導入や発展に課題・背景を抱えた放課後施設でも子どもたちにとって新しい選択肢を増やし、子どもの「やりたい」ができる放課後の環境、「やりたい」に伴走できるスタッフを増やす。

ゴール

- ✓ 活動スタートBOXを使ってその拠点の子どもたちのやりたいことが実現される
- ✓ 子ども主体の活動の型化(放課後拠点の質向上、横展開できる型)

解決策(支援内容)

子どもたちに人気で子ども主体の要素を含める、工作、ソーイング、お祭り、外あそびをテーマに設定
各放課後団体・施設が選んだ活動テーマに沿った下記①②の支援を実施

内容:①材料や道具等の物品提供 ②研修・交流会

対象: 放課後事業運営団体・施設10施設を全国から公募

期間: 2023年7月~11月



放課後現場ならではの課題・背景

- 備品や材料の予算不足
 - 購入に至るまでの手間 等
- ➡環境を整える部分に困難さ

スタッフの研修機会の不足
拠点の孤立化

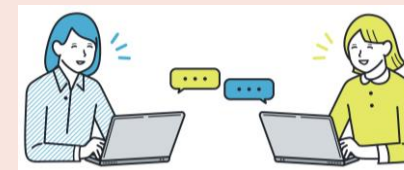


解決策(支援内容)

物理的環境(材料や道具)の提供



ノウハウ提供・交流の機会設定
(スタッフ育成支援)



ゴール・プロジェクトのアウトプット

- ✓ 活動スタートBOXを使ってその拠点の子どもたちのやりたいことが実現される
- ✓ 子ども主体の活動の型化(放課後拠点の質向上、横展開できる型)



自分がやりたい活動ができている



子どもたちの「やりたい」を引き出し、それが実現できるように子どもに伴走できるようになる



【未来マップより】

- 子どもの伴走者が増えている
- 子どもの心身の成長を促す体験・関わり・環境が増える

【事業化・持続性観点より】

- 「全国のこどもの放課後の『質』向上」を目指した拠点支援として、持続可能な低コスト・低パワーのモデルを作る
- 来年度以降の持続的な実施(事業化)の可能可否を検証する
- 支援により豊かな体験活動を含む放課後拠点数の増加

■支援内容

活動テーマ:こうさく、ソーイング、お祭り、外あそび

①材料や道具等の物品提供

NPO直営拠点スタッフにヒアリングをし、1拠点あたり1.5万円程度の内容に精査する。
各テーマで物品リストを作成、購入後、1つのセットとして箱詰め・発送を行う

②研修・交流会

目的: NPO直営拠点スタッフがメンターとなり、困りごとや悩み事を直接聞いてアドバイスや事例紹介をする
時期と回数: 7月(キックオフ)、9月(中間報告)、10月(最終報告)の計3回

■支援期間: 7月～11月(5か月間)

7月

活動テーマに沿った

- 材料や道具のセットを送付
- オンラインサポート会①(キックオフ)
- 型化資料(ベータ版)の提供

8月～10月

- 各支援拠点の実践
- 8,9,10月末(月1回)活動レポート提出
- 9月オンラインサポート会②(中間報告)

11月

- オンラインサポート会③(最終報告)
- アンケートの実施

スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外部拠点支援	全体設計	企画・検討		告知準備	告知	選考			事後アンケート 検討・作成	回収・集計	振り返り資料 作成・共有	報告書作成	
	支援・型化			セット内容 検討	セット購入	セット送付							
	その他		メンター 募集		企画・準備	サポート会① 実施		企画・準備	サポート会② 実施	企画・準備	サポート会③ 実施		
			事例集B版の作成								型化資料の作成		
企業協働の模索		企画・検討	企業ヒアリング・アプローチ									最終見極め	
		SDT相談				SDTフォーラム 開催			ブログ①		ブログ②	昨年度支援拠点ヒアリング・ 企画・準備	昨年度支援拠点 サポート会実施



 放課後 NPO
アフタースクール